

平成30年度

# 一般入試学生募集要項

## 【前期日程】

出願期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水)
試験日	平成30年2月25日(日) 教育学部・経済学部・医学部看護学科・ 理工学部・福祉健康科学部
	平成30年2月25日(日)・26日(月) 医学部医学科
合格者発表	平成30年3月6日(火)

## 【後期日程】

出願期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水)
試験日	平成30年3月12日(月) 教育学部・経済学部・医学部看護学科・ 理工学部・福祉健康科学部
合格者発表	平成30年3月20日(火)

# 目 次

	ページ
大分大学 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	16
2. 出願資格	17
3. 志願学部・学科等	17
4. 出願期間	18
5. 出願に必要な書類等	18
6. 個人情報の取扱い	20
7. 入学資格審査	20
8. 障がいのある者等の事前相談	21
9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について	21
10. 受験票	21
11. 平成30年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	22
◎大学入試センター試験・個別学力検査, その他の注意事項	32
12. 個別学力検査の日程及び検査時間	38
13. 受験に際しての注意事項	40
14. 検査場	40
15. 不正行為の取扱い	43
16. 合格者発表	43
17. 入学手続	43
18. 追加合格	44
19. 情報提供	44
20. 入試過去問題の使用	45
21. その他	45
22. 受験の際の宿泊	45
23. 大分大学学生寮のご案内（予告）	46
24. 平成29年度入学者選抜試験実施状況	47
25. 平成29年度一般入試合格者の成績	48
一般入試出願書類等【前期日程】	
一般入試出願書類等【後期日程】	

# 大分大学 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

## 教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を習得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

## 求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心を持ち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

# 大分大学教育学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

## 教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

## 求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

## 入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）及び推薦入試を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

（一般入試のみ抜粋）

### ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では教科の試験と面接を課しています。

### ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では面接を課しています。

## 各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	試験項目	求める学生像					
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心	
一般入試	前期日程	大学入試センター試験	○	○			
		教科の試験	○	○		○	
		面接		○	○	○	○
	後期日程	調査書	○		○	○	
		大学入試センター試験	○	○			
		面接		○	○	○	○
推薦入試	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○		○	○	
	推薦書			○	○	○	
	大学入試センター試験	○	○				
	面接		○	○	○	○	

## 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センター試験で課している教科・科目について、及び一般入試（前期日程）において各コースで課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。推薦入試や一般入試（後期日程）においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

また、教科の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

**国語：**他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、習得しておくべき科目は国語総合の他、国語表現、現代文、古典に関する科目です。

**地理歴史、公民：**地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

**数学：**数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。なお、習得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

**理科：**基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

**外国語（英語）：**外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。

なお、習得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

# 大分大学経済学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

## 求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。特に、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、事業コンサルタントやシンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設、NPO・NGO、ボランティア組織、地場産品を扱う6次産業などで働くことをめざす人）

## 《各学科の特色》

本学部は、次の4つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

### 〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動が生み出す経済社会の諸現象を分析できる経済学的な考え方を学びます。これにより、グローバル化された経済社会で活躍できる人材を育成します。

### 〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる経営上の問題に対しての経営学・商学・会計学の諸理論を基礎・中級・応用と段階的に幅広く学び、かつ分析・解明する方法や技術を会得したうえで、それらを実社会で有効に活用し効果的な解決策を提案できる実践力を養います。

### 〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域経済、法律、行政、福祉など、住民の生活領域を学際的・総合的に学ぶとともに、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。これにより、地域の経済社会や行政・法制度に関わる知識を十分に備え、グローバルな諸問題を総合的に理解し、それらを活用して、地域社会の再生・活性化のために、ローカルな実践ができる人材を養成します。

### 〈社会イノベーション学科〉

社会イノベーション学科では、商品・サービスの創造による企業経営上の革新や、行政やNPO等による社会事業創造に基づき、地域社会の課題を解決することを学びます。特に、イノベーション（新たな価値創造）が求められる社会経済状況を理解して、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、課題探究能力およびチームワークを構築・維持できるようなコミュニケーション力を備えた人材や組織の中でイノベーション強化に携わる人材を養成します。

## 入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

#### ・一般入試（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を課しています。

#### ・一般入試（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

#### ・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

#### ・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

#### [課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習過程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度をみます。

##### ・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

##### ・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

##### ・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

##### ・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。



各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ
一般入試	前期日程	大学入試センター試験	◎	○		○	
		教科の試験	○	○		○	
	後期日程	大学入試センター試験	◎	○		○	
		小論文	○	○		○	
推薦入試	小論文	○	○		○		
	面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
	推薦書	○		○	○	○	
AO入試	小論文	○	○		○		
	面接	◎	○	◎	○	◎	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
その他	帰国子女入試	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人入試	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	留学生・外国人入試	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
調査書		○		○	○		

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

**国語**：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

**地理歴史、公民**：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

**数学**：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

**理科**：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

**外国語（英語）**：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

# 大分大学医学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

## 教育の目標

### <医学科>

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

### <看護学科>

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

## 求める学生像

### <医学科>

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

### <看護学科>

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

## 入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般入試とアドミッション・オフィス入試を、看護学科では一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業生を対象に2年次編入学を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業生等を対象とした3年次編入学を実施しています。

各選抜試験で重視する観点<医学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた慈愛の心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する
一般入試	前期日程							
	大学入試センター試験	○	○					
	個別学力検査(筆記)	○	○					
AO入試	後期日程							
	大学入試センター試験	○	○					
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	
推薦入試	後期日程							
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	
	個別学力検査(集団面接)		○	○				○

各選抜試験で重視する観点<看護学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている	社会性を有する
一般入試	前期日程							
	大学入試センター試験	○	○					
	個別学力検査(小論文)		○					
	後期日程							
推薦入試	後期日程							
	大学入試センター試験	○	○					
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	
推薦入試	後期日程							
	個別学力検査(集団面接)		○	○				○

(一般入試のみ抜粋)

・一般入試

≪医学科前期日程≫

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科(物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択)、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

## 〈看護学科前期日程・後期日程〉

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については5教科5科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

## 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

(一般入試のみ抜粋)

・一般入試

〈医学科前期日程〉

**国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

**地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

**数学**：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

**理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

**外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

**保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈看護学科前期日程・後期日程〉

**国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

**地理歴史、公民**：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

**数学**：数学Ⅰ又は数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

**理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

**外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

**保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

# 大分大学理工学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

## 教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えると共に、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

創生工学科では、「工学の専門性を究めつつ理学の素養を併せ持つ人材」を、共創理工学科では、「理学の専門性を究めつつ工学の素養を併せ持つ人材」をそれぞれ養成します。

## 求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら、自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、理学及び工学分野の先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・理学及び工学分野の新しい課題に興味を持ち、将来これらの課題に立ち向かっていくためのねばり強さをもっている人
- ・豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- ・地域社会や国際社会でリーダーシップと行動力を発揮しようとする意志をもっている人

### （A）創生工学科のアドミッション・ポリシー

安心かつ持続可能な社会を実現するために、付加価値の高いものづくり技術の創出に意欲のある人

#### （1）機械コースのアドミッション・ポリシー

ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

#### （2）電気電子コースのアドミッション・ポリシー

現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

#### （3）福祉メカトロニクスコースのアドミッション・ポリシー

メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ福祉社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

#### （4）建築学コースのアドミッション・ポリシー

自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、安全・安心かつ持続可能な社会実現のために、高度化・多様化・国際化している建築技術の修得や魅力ある環境・空間の創生に意欲のある人

## (B) 共創理工学科のアドミッション・ポリシー

数理・自然科学への興味とその技術的応用に取り組む意欲のある人

### (1) 数理科学コースのアドミッション・ポリシー

数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

### (2) 知能情報システムコースのアドミッション・ポリシー

情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

### (3) 自然科学コースのアドミッション・ポリシー

自然科学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

### (4) 応用化学コースのアドミッション・ポリシー

科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

## 入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験生の学力や資質を見るため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか、推薦入試（一般推薦、サイエンス推薦）、アドミッション・オフィス（AO）入試、特別入試（帰国子女入試、私費外国人留学生入試）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

### （一般入試のみ抜粋）

#### ・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）により選抜します。大学入試センター試験では、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を判断します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を判断します。

#### ・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入試センター試験では、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を判断します。個別学力検査は、個人面接又は集団面接で行い、志望学科コースやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を見ます。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を見る試問を含むことがあります。

各選抜試験で重視する観点

		入試区分	学力の3要素			求める資質・能力		
			主体性・協働性	思考力・判断力・表現力	知識・技能	着想力・探究力・行動力を有する	意欲・関心・積極性・持続性を有する	他者と協同して理解を深める力を有する
一般入試	日程前期	大学入試センター試験		○	○			
		個別学力検査(教科の試験)		◎	○	○		
	日程後期	大学入試センター試験		○	◎			
		個別学力検査(面接)		○	○	○	◎	○
推薦入試	一般推薦	基礎能力試験		○	○			
		面接(口頭試問を含む)		○	○	○	○	○
		推薦書	○	○			○	
		調査書	○		○			
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		
		面接(口頭試問を含む)		○	○	○	○	○
		志望理由書		○			○	
		推薦書	○	○			○	
AO入試		調査書	○		○			
		面接(口頭試問を含む)		○	○	○	◎	○
		自己推薦書		○			○	
		活動報告書	○			○	◎	
		調査書	○		○			

◎ 特に重視する

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

理工学部の教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

**国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。習得しておくべき科目は、国語総合、国語表現、現代文、古典です。

**地理歴史、公民**：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を習得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心を持つことが必要です。

**数学**：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を習得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

**理科**：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。習得しておくべき科目は、物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上です。

**外国語(英語)**：外国語(英語)を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語(英語)の力を持つことが必要です。習得しておくべき科目は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

# 大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針(AP：アドミッション・ポリシー)

## 基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に習得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

## 教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

## 求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

- ・大学において、教養と専門的知識を習得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- ・福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
- ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
- ・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
- ・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人  
〈理学療法コース〉
- ・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人  
〈社会福祉実践コース〉
- ・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人  
〈心理学コース〉
- ・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

## 入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多角的に評価する個別選抜を確立するために、一般入試（前期日程・後期日程）及び推薦入試（理学療法コース及び心理学コースは実施しない）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

（一般入試のみ抜粋）

- ・一般入試（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課します。大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などをみます。



## 各選抜試験で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の三要素			本学部が求める力		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	地域社会への関心	意欲・積極性	コミュニケーション力・リーダーシップ
一般入試	前期日程	大学入試センター試験	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
	後期日程	大学入試センター試験	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
推薦入試	小論文	○	◎	○	◎	○		
	面接		○	◎	○	◎	◎	

## 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。個別学力検査及び推薦入試においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

**国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、習得しておくべき科目は国語総合、国語表現、現代文、古典です。

**地理歴史・公民**：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

**数学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。

なお、習得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

**理科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

**外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。

なお、習得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

# 1. 募集人員

学部	課程・学科・コース		入学定員	募 集 人 員				
				一般入試		推薦入試	AO入試	
				前期日程	後期日程			
教育学部	学校教育 教員養成 課程	小学校 教育コース	125	80	20	25	—	
		特別支援 教育コース	10	3	2	5	—	
	計		135	83	22	30【注2】	—	
経済学部	経済学科		90	120	80【注3】 ①②③	普通推薦 45 商業推薦 20	英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 5	
	経営システム学科		80					
	地域システム学科		80					
	社会イノベーション学科		40					
	計【注1】		290	120	80	65【注2】	25【注2】	
医学部	医学科		100	65	—	—	一般枠 22 地域枠 13	
	看護学科		60	35	10 【注3】②	15	—	
	計		160	100	10	15【注2】	35【注2】	
理工学部	創生 工学科	機械コース	75	44 【注3】①③	15	一般推薦 11 サイエンス推薦 2	13	3
		電気電子コース	75	52 【注3】①③	10	一般推薦 9 サイエンス推薦 2	11	2
		福祉メカトロニクス コース	35	18 【注3】①③	7	一般推薦 6 サイエンス推薦 2	8	2
		建築学コース	50	35 【注3】①③	10	—	—	5
	共創 理工学科	数理科学コース	15	11 【注3】①③	2	— サイエンス推薦 2	2	—
		知能情報システム コース	65	41 【注3】①③	10	一般推薦 7 サイエンス推薦 2	9	5
		自然科学コース	15	10 【注3】①③	3	— サイエンス推薦 2	2	—
		応用化学コース	55	37 【注3】①③	10	一般推薦 4 サイエンス推薦 2	6	2
	計		385	248	67	一般推薦 37 サイエンス推薦 14 【注2】	51	19 【注2】
福祉 健康 科学部	福祉 健康 科学科	理学療法コース	30	25	5	—	—	
		社会福祉実践 コース	35	23	6	普通推薦 5 福祉推薦 1	6	—
		心理学コース	35	30	5	—	—	
	計		100	78	16	6【注2】	—	
合 計			1070	629	195	167	79	

【注1】 経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注2】 推薦入試，AO入試の入学者が募集人員に満たなかった場合は，一般入試（前期日程）で補充することがあります。

【注3】 募集人員には，①帰国子女入試，②社会人入試，③私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。

## 2. 出願資格

平成30年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（20ページの「7. 入学資格審査」を参照）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

## 3. 志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照

### (1) 教育学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

### (2) 経済学部

前期日程及び後期日程とも各学科の募集人員を一括して募集し、所属学科は入学後に決定します。

### (3) 医学部

志願できる学科は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。（ただし、医学科は後期日程は実施しません。）

### (4) 理工学部

(ア) 志願できる学科・コースは、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。また、第1志望のみ又は第2志望まででもかまいません。

(イ) 前期日程において、第1志望の学科・コースに必要な個別学力検査受験科目（理科）を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。

(ウ) 前期日程及び後期日程とも、共創理工学科の各コースを第1志望にして、創生工学科の各コースを第2志望又は第3志望にする場合は、大学入試センター試験で「物理」を選択していることが必要です。

### (5) 福祉健康科学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

## 4. 出願期間

平成30年1月22日（月）から1月31日（水）17時まで（必着）

出願は郵送のみとします。必ず本要項に添付されている日程毎（前期・後期）に色分けした封筒を用い、速達書留で郵送してください。

ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、1月31日（水）に限り持参を認めます。


（受付時間は、9時から17時まで）

【注】出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

## 5. 出願に必要な書類等

### （1）出願書類等

書類等名	内容等	該当者
入学志願書 受験票 電算処理原票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、下記のを貼り付けてください。</p> <p>(1) 平成30センター試験成績請求票（国公立前期日程用又は国公立後期日程用）</p> <p>(2) 写真（縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるもの。）※写真裏面には、志願学部及び氏名を記入してください。</p> <p>(3) 志願課程・学科等及び受験教科等貼付用紙</p> <p>(4) 入学検定料振替払込受付証明書等（大学提出用）</p>	
調査書	<p>(1) 高等学校等を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身高等学校長等が作成し厳封したもの。（平成30年3月卒業見込みの者については、3年2（前）学期末現在で作成したもの。）</p> <p>※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、高等学校長等が作成した、①「調査書が発行できない旨の理由書」、②「卒業証明書」、③「成績証明書（又は単位修得証明書）」を調査書の代わりに提出してください。なお、③「成績証明書（又は単位修得証明書）」が得られない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書（又は単位修得証明書）」が発行できない旨の理由書を③の代わりに提出してください。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、<b>合格成績証明書</b>をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>(3) 高等専門学校第3学年修了（見込みを含む。以下同じ。）者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。</p> <p>(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した（見込みを含む。以下同じ。）者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は、当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。</p> <p>※改姓等により、現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。</p>	<p>全 員 （前期、後期とも出願する場合は2通必要です。）</p>
志願調書	<p><b>医学部看護学科（後期日程）</b>を志願する者は、本学所定の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。</p>	<p>医学部看護学科のみ</p>
住所シール	<p>本学所定の住所シール①～③すべてに、合格通知等を受け取る住所等を記入してください。</p>	<p>全 員 （前期、後期とも出願する場合は2通必要です。）</p>
受験票返信用封筒	<p>本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、362円分の切手を貼ってください。</p> <p>※切手を複数枚貼る場合は、重ねて貼らないようにしてください。</p> <p>※「収入印紙」は切手ではありませんので、貼らないでください。</p>	<p>全 員 （前期、後期とも出願する場合は2通必要です。）</p>

書類等名	内容等	該当者
入学検定料振替払込 受付証明書等 (17,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局を含む）での振込            本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続を行ってください（ATM不可）。</p> <p>②コンビニエンスストアでの振込            本学ホームページ（<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>）から振込専用ホームページ（上部メニュー「入試情報」→「入学検定料のコンビニ収納」）へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。</p> <p>【振込専用URL】 <a href="https://www.oita-u.net/">https://www.oita-u.net/</a>            【携帯電話用URL】 <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a></p>  <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票下の貼付欄にはがれないようのり付けしてください。            ※手数料は本人負担です。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。（前期日程で合格したために、後期日程を受験しない場合も入学検定料は返還できません。）            (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合（返還額：17,000円）            (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合（返還額：17,000円）            (ウ) 出願受付後に、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（返還額：13,000円）            (エ) 医学部又は福祉健康科学部の第1段階選抜で不合格となった場合（返還額：13,000円）            ※（ア）又は（イ）に該当する場合は、20ページ「（4）入学検定料の返還請求」を参照してください。            ※（ウ）又は（エ）に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p>	全 員 （前期、後期とも出願する場合は2通必要です。）

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）のAO入試及び推薦入試合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても本学の合格者とはなりません。  
 ※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照
- (イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。
- (ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。（出願書類提出前に本要項添付の出願用封筒裏面の出願書類等一覧表の志願者確認欄により、出願書類等を確認してください。）
- (エ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。誤りのないよう記入（貼付）してください。
- (オ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (カ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (キ) 出願にあたっては、志願する学部・課程・学科・コースが指定する大学入試センター試験の教科・科目（24～31ページ参照）を受験しているか、必ず志願者本人が確認の上、入学志願書の「センター試験受験科目確認欄」に○を付けてください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入試センター試験の成績提供を受けた結果、志願する学部・課程・学科・コースが指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学個別学力検査を受験することができません。
- (ク) 入学志願書に「平成30センター試験成績請求票(国公立前期日程用又は国公立後期日程用)」

を貼付していない場合は、出願を受理できません。（「平成30センター試験成績請求票（国公立前期日程用又は国公立後期日程用）」を紛失している場合は、大学入試センター試験受験案内を参照の上、至急、独立行政法人大学入試センターに再発行申請を行ってください。）

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合又は入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～④を明記した「入学検定料返還請求願」（A4サイズ、様式任意）を作成し、「振替払込受付証明書（大学提出用）」又は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書し、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・入学検定料返還請求願に記載する事項

①氏名（フリガナ）、②郵便番号及び住所、③連絡先電話番号、④返還請求理由

・請求期限：平成30年2月28日（水）

・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

※入学検定料の返還は、3月以降になります。

## 6. 個人情報の取扱い

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学科・授業料免除（猶予）、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

## 7. 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申出を行い、関係書類を平成30年1月5日（金）（ただし、大学入試センター試験を受験後、本学に志願変更した場合は平成30年1月17日（水））までに提出してください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）

## 8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限：平成29年12月15日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法：本要項に添付している「平成30年度大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書（診断書等必要書類添付）」を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

※ 大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は、その写しを添付してください。

(3) 申込先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

## 9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

次の災害で被災した入学志願者で、本学の受験に際し入学検定料等の免除など特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 対象者：

①平成29年台風18号により被災した入学志願者または転学等をした入学志願者

②平成29年九州北部豪雨により被災した入学志願者または転学等をした入学志願者

③熊本地震により被災した入学志願者または転学等をした入学志願者

④東日本大震災により被災した入学志願者または東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者

(2) 申出期限：平成29年12月15日（金）17時までに申し出てください。

(3) 申出方法：志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等から、直接又は電話により申し出てください。

(4) 申出先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、災害で被災した者等への対応に関する情報については、本学ホームページ

(<http://www.oita-u.ac.jp/>) に詳細を掲載しています。

## 10. 受験票

受験票は、出願期間終了後、出願資格を確認の上、平成30年2月9日（金）頃に、志願者本人宛に発送します（医学部及び福祉健康科学部は、第一段階選抜後発送。詳細は34ページ・37ページを参照）。

なお、個別学力検査当日は「大分大学受験票」と「大学入試センター試験受験票」の2種類を忘れずに持参してください。

## 11. 平成30年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

### 教科・科目名の表記方法について

(1) 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

・国語→国

『国語』→「国」

・地理歴史→地歴

「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」,

「日本史B」→「日B」, 「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」

※「同一名称のA・B出題科目」とは, 「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」を指します。

・公民→公民

「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」,

『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」

※「同一名称を含む出題科目」とは, 「倫理」と『倫理, 政治・経済』, 「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』を指します。

・数学→数

「数学I」→「数I」, 『数学I・数学A』→「数I・数A」,

「数学II」→「数II」, 『数学II・数学B』→「数II・数B」,

『簿記・会計』→「簿」, 『情報関係基礎』→「情報」

・理科→理

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地基」,

「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」

※「基礎を付した科目」とは, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。

※「基礎を付さない科目」とは, 「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。

※「同一名称を含む出題科目」とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」を指します。

・外国語→外

『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」,

『韓国語』→「韓」

(注) 『 』で記載しているものは, 2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

(2) 個別学力検査の出題教科・科目名は, 上記(1)によるほか次のように略しています。

・「国語総合」→「国総」

・「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」, 「数学III」→「数III」

・「コミュニケーション英語I」→「コ英I」, 「コミュニケーション英語II」→「コ英II」,

「コミュニケーション英語III」→「コ英III」,

「英語表現I」→「英表I」, 「英語表現II」→「英表II」





◎32～37 ページの「大学入試センター試験・個別学力検査, その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成29年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接		配点 合計		
教育学部 〔4.1〕 135人 前期 83 後期 22 推薦 30	小学校教育コース 125人 前期 80 後期 20 推薦 25	前期 2月25日	国	国	国 数 外 その他	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接 ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	から1 ※4	センター試験	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	推薦 追加合格	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1又は2 ※2				※1	個別学力検査	[150]※4		[150]※4		[150]※4		150		300
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学から2					計	350※4	200 100 200 200 100	200	350※4	100 200 100 200	200	150		1200
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕															
		後期 3月12日	その他	面接														
			センター試験	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900							
	個別学力検査									200	200							
	前期 2月25日	国	国	国 数 外 その他	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接 ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	から1 ※4	センター試験	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	推薦 追加合格		
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1又は2 ※2	※1				個別学力検査	[150]※4		[150]※4		[150]※4		150	300			
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学から2					計	350※4	200 100 200 200 100	200	350※4	100 200 100 200	200	150	1200			
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕																
	後期 3月12日	その他	面接															
センター試験		200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900									
個別学力検査									200	200								
前期 2月25日	国	国	国 数 外 その他	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接 ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	から1 ※4	センター試験	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	推薦 追加合格			
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1又は2 ※2	※1				個別学力検査	[150]※4		[150]※4		[150]※4		150	300				
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学から2					計	350※4	200 100 200 200 100	200	350※4	100 200 100 200	200	150	1200				
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕																	
後期 3月12日	その他	面接																
	センター試験	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900									
	個別学力検査								200	200								

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②, 又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④
- ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において, 同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は, 「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は, 出願資格を満たさないこととなります。
- ※4 個別学力検査の〔 〕で示した配点は, 個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

◎32～37 ページの「大学入試センター試験・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成29年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の入試方法等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史公民	数学	理科	外国語	小論文	面接		配点計								
経済学部 〔4.7〕 290人 前期 120 後期 80 AO 25 推薦 65	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	前期 2月25日	国	国	数外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※6  ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	センター試験	100	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200				800								
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2				個別学力検査			[200]※6						<200>※6			200				
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					計	100	200										[400]※6	100	[200]	1000
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	<200>		<400>※6	
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 } ①又は②																				
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕																					
		後期 3月12日	国	国	その他	小論文	センター試験	100	100×2	100		100				500								
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2				個別学力検査						200	200									
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					計	100	200	100		100	200	700								
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 ※5																				
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科5科目又は5教科5科目〕																							

医学部 〔4.4〕 160人 前期 100 後期 10 AO 35 推薦 15	医学科 100人 前期 65 AO 35	前期 2月25日 と26日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から2 生基・生 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接  ※数Bは「数列、ベクトル」	約3倍	センター試験	100	50	50×2	50×2	100			450	
			地歴	世B, 日B, 地理B } から1 ※7				個別学力検査			100	100×2	100		200	600	
			公民	倫・政経					計	100	50	200	300	200		200	1050
			数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1													
			理	物, 化, 生から2													
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕														
		看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	前期 2月25日	国	国	その他	小論文	約6倍	センター試験	100	50	100	100	100			450
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 ※9				個別学力検査						100	100	
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					計	100	50	100	100	100	100	550
				数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 ※5												
理	物, 化, 生から1 ※8																
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5科目〕																
後期 3月12日	後期 3月12日	国	国	その他	面接	約7倍	センター試験	100	50	100	100	100			450		
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 ※9				個別学力検査						100	100			
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					計	100	50	100	100	100	100	550		
数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 ※5																
理	物, 化, 生から1 ※8																
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5科目〕																

- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※5 「数学」の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
- ※6 個別学力検査及び計の〔〕と<>で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。
- ※7 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
- ※8 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
- ※9 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

◎32～37 ページの「大学入試センター試験・個別学力検査, その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成29年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の入試方法等						
		教科	科目名等		教科等	科目名等		2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史公民	数学	理科	外国語	小論文		面接	配点計				
理工学部 [4.5] 385人 前期 248 後期 67 推薦 51 AO 19	創生工学 前期 75人 後期 44 推薦 15 AO 3  電気電子 前期 75人 後期 52 推薦 10 AO 3	前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」		センター試験	150	75	50×2	50×2	200				625	AO入試 推薦 帰国子女 私費外国人  追加合格				
			地歴公民	世B, 日B, 地理B } から1 ※7 倫・政経															400			
			数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	1025	
			理	物化																		
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]																		
			後期	3月12日				国	国	その他	面接		センター試験	125	75	150×2	100×2		200			
福祉メカトロニクス 前期 35人 後期 18 推薦 7 AO 2  建築学 前期 50人 後期 35 推薦 10 AO 5	前期 3月12日	国	国	その他	面接		センター試験	125	75	150×2	100×2	200				900						
		地歴公民	世B, 日B, 地理B } から1 ※7 倫・政経														200	200				
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																1100			
		理	物化																			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]																			
		後期	3月12日				国	国	その他	面接		センター試験	125	75	150×2	100×2	200				900	
共創理工 前期 15人 後期 11 推薦 2  知能情報システム 前期 65人 後期 41 推薦 10 AO 9  自然科学 前期 15人 後期 10 推薦 3 AO 2  応用化学 前期 55人 後期 37 推薦 10 AO 6 AO 2	前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物化基・化生基・生 } から1  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」		センター試験	150	75	50×2	50×2	200				625	AO入試 推薦 帰国子女 私費外国人  追加合格					
		地歴公民	世B, 日B, 地理B } から1 ※7 倫・政経																400			
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	1025		
		理	物化 } から2 生																			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]																			
		後期	3月12日				国	国	その他	面接		センター試験	125	75	150×2	100×2		200				900
前期 3月12日	地歴公民	世B, 日B, 地理B } から1 ※7 倫・政経														200	200					
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1															1100					
	理	物化 } から2 生																				
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]																				
	後期	3月12日	国	国	その他	面接		センター試験	125	75	150×2	100×2	200				900					
	地歴公民	世B, 日B, 地理B } から1 ※7 倫・政経															200	200				

※7 「地理歴史」及び「公民」の科目において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお, 第1解答科目が大学の指定した科目でなかった場合は, 出願資格を満たさないこととなりますので, 第1解答科目は, 必ず大学が指定する科目の中から選択してください。

◎32～37 ページの「大学入試センター試験・個別学力検査, その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成29年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の入試方法等					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計						
福祉健康 科学部 [4.5]  100人 前期 78 後期 16 推薦 6	理学療法 コース  30人 前期 25 後期 5	前期 2月25日	国	国	その他 その他	小論文 面接	約3倍	センター試験	200	100	100×2	③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	追加合格				
			地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B					} から1 ※9	個別学力検査									300	100	400
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							} ③又は④	計	200	100	200	200		200	300	100	1300
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	} ③又は④	センター試験	200	100	100×2	③(50×2+100) ④(100×2)				200						900		
		理	③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※10 ④物, 化, 生, 地学から2			} ③又は④	個別学力検査								100	300		400			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目]					} ③又は④	計	200	100	200	200	200	200	100		300	1300		
	社会福祉 実践コース  35人 前期 23 後期 6 推薦 6	前期 2月25日	国	国	その他 その他					小論文 面接	約3倍	センター試験	200	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200			900	推薦 追加合格
			地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		} から2 ※2	個別学力検査												300	100	
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				} ①又は②	計				200	200	200	100	200	300	100	1300	
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	} ①又は②	センター試験	200				100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200					900			
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1			} ①又は②	個別学力検査									100	300	400			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]					} ①又は②	計	200	200	200	100	200	100	300	1300				
心理学 コース  35人 前期 30 後期 5	前期 2月25日	国	国	その他 その他	小論文 面接					約3倍	センター試験	200	(100×2)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	追加合格	
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1			} から1又は2 ※2	個別学力検査												100		300
		地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B					} ※1	計			200	200	200	100	200	100	300	1300		
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	} ※1	センター試験	200					(100×2)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200					900			
	理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学から2			} ※1	個別学力検査									300	100	400				
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]					} ※1	計	200	200 100	200	100 200	200	300	100	1300					

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②, 又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④
- ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において, 同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は, 「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は, 出願資格を満たさないこととなります。
- ※9 「地理歴史」及び「公民」の科目において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
- ※10 「理科」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は, 出願資格を満たさないこととなります。

## ◎大学入試センター試験・個別学力検査，その他の注意事項

### 全学部共通事項

#### 【大学入試センター試験について】

(1) 「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングテストを免除された者は除く）。

「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、24～31ページの表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

(2) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

#### 【その他】

(1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査及び出身高等学校長等が作成した調査書等に基づいて総合判定します。

(2) 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

なお、本学では平成30年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

(3) 個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

## 教育学部

### 【大学入試センター試験について】

・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2 ※2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学から2  ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」 の①もしくは②, 又は「地理歴史」及び「公民」 から1科目と「理科」の③もしくは④  ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B 出題科目, 「公民」においては, 同一名称を 含む出題科目同士の選択はできません。  ※3 「理科」において, 同一名称を含む出題科目 同士を選択していた場合は, 「基礎を付した 科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科 目」の得点のうち高得点の得点のみを使用し ます。「地理歴史」及び「公民」で1科目し か受験していない場合は, 出願資格を満たさ ないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し, 理科の科目において, (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」 1科目を受験した場合は,  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の2つ</div> </div> 合否判定に使用する得点  ただし, 理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を 選択していた場合は,  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの</div> </div> 合否判定に使用する得点  (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は,  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの</div> </div> 合否判定に使用する得点

### 【個別学力検査について】

#### 前期日程

- (1) 国語, 数学, 外国語から試験開始後に1教科を選択して受験してください。
- (2) 面接は, コースごとに, 集団面接を行います。集団面接は, 集団討論の方式で実施します。

#### 後期日程

- ・面接は, コースごとに, 集団面接を行います。集団面接は, 集団討論の方式で実施します。

### 【同点者について】

- ・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は, 大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

## 経済学部

### 【大学入試センター試験について】

- ・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1	前期日程の理科の科目において, (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は, 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点
		(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は, 第1解答科目 第2解答科目

高得点のものを合否判定に使用

第1解答科目の得点を合否判定に使用

### 【個別学力検査について】

#### 前期日程

- ・個別学力検査等の配点等の〔 〕と〈 〉で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

#### 後期日程

- ・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。  
 (a) 理解力 (あるいは大意把握力)      (b) 論理的思考力      (c) 表現力

## 医学部

### 【第1段階選抜について】

医学科及び看護学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

#### 前期日程

- ・医学科は募集人員の約3倍、看護学科は募集人員の約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

#### 後期日程

- ・看護学科は募集人員の約7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜については、平成30年2月7日（水）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。

### 【個別学力検査について】

#### 前期日程

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。  
 (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。



- (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。  
なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (4) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。

#### 後期日程

- ・看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。

### 【同点者について】

#### 前期日程

- ・同点者がいる場合は、医学科は大学入試センター試験の数学Ⅰ・数学Aの高得点者、大学入試センター試験の外国語の高得点者の順、看護学科は大学入試センター試験の数学の高得点者を高順位とします。

#### 後期日程

- ・同点者がいる場合は、大学入試センター試験の数学の高得点者を高順位とします。

## 理工学部

### 【大学入試センター試験について】

前期日程及び後期日程とも、共創理工学科の各コースを第1志望にして、創生工学科の各コースを第2志望又は第3志望にする場合は、大学入試センター試験で「物理」を選択していることが必要です。

### 【個別学力検査について】

#### 前期日程

- (1) 理科の出題範囲は次のとおりです。
  - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
  - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
  - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (2) 第1志望の学科・コースに必要な個別学力検査受験科目（理科）を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。

#### 後期日程

- ・面接では志願学科・コースやそれに関わる分野への関心、意欲、理解、積極性、自己表現力をみます。

【大学入試センター試験について】

・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 } ①又は②	理科の科目において, (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は, 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点のものを合否判定に使用 (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は, 第1解答科目 第2解答科目 } 第1解答科目の得点を合否判定に使用
地歴 公民 理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ※1 ②物, 化, 生, 地学から1 } ③物基, 化基, 生基, 地基から2と } 物, 化, 生, 地学から1 } ※3 ④物, 化, 生, 地学から2 } ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②, 又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④ ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 ※3 「理科」において, 同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は, 「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は, 出願資格を満たさないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し, 理科の科目において, (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は, 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点の2つ = 合否判定に使用する得点 ただし, 理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は, 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点のもの = 合否判定に使用する得点 (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は, 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点 } 高得点のもの = 合否判定に使用する得点

### 【第1段階選抜について】

各コースにおいて、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

#### 前期日程

- ・各コースの募集人員の約3倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

#### 後期日程

- ・各コースの募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜については、平成30年2月7日（水）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。

### 【個別学力検査について】

#### 前期日程・後期日程

- ・個別学力検査では、小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などをみます。なお、面接の得点が、面接の配点の20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

### 【同点者について】

- ・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

## 12. 個別学力検査の日程及び検査時間

### 【前期日程】

- ・教科等欄の△は選択を示します。
- ・筆記試験及び面接の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該検査終了まで退室できません。
- ・遅刻による検査室への入室限度時刻は、次のとおりです。
  - ・筆記試験…検査開始後20分
  - ・面接…受験者の1組目又は1人目の面接が始まるまで
- ・面接の終了時刻は、最終面接者（組）の終了予定時刻であり、変更することがあります。各面接終了者（組）から帰ることができます。

検査日		2月25日（日）			2月26日（月）	
学部	課程・学科・コース		教科等	検査時間	備考 (教科・科目の選択方法等)	教科等, 集合時刻等
教育学部	学校教育 教育教員養成課程	小学校教育コース 特別支援教育コース	△国語 △数学 △英語	12:30~13:50	国語, 数学, 英語 から1教科を試験 開始後に選択	
			面接	14:40~18:00		
経済学部	経済学 経営システム学 地域システム学 社会イノベーション学	△数学 △英語	12:30~14:10	数学, 英語から1 教科を出願時に選 択		
医学部	医 学 科	理科	9:30~11:30	理科は物理, 化 学, 生物から2科 目を試験開始後に 選択	面接 午前の部 8:30集合(予定) 午後の部 12:45集合(予定) ※面接の集合時刻は, 午前の 部と午後の部で異なります。 集合時刻については, 受験票 送付の際にお知らせします。	
		数学	12:50~14:10			
英語	15:00~16:20					
	看護学 科	小論文	9:30~11:30			
理工学部	全 コ ー ス	理科	9:30~11:00	共創理工学科の理 科は物理, 化学, 生物から1科目を 出願時に選択		
		数学	12:30~14:10			
福祉健康科学部	福祉健康科学 科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文	10:00~11:30		
			面接	13:00~18:00		
	心理学コース	小論文	10:00~11:00			
		面接	13:00~18:00			

※受験者及び付添者控室は図書館と大分大学学生交流会館「B-Forest」(生活協同組合食堂)です。

## 【後期日程】

- ・筆記試験及び面接の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該検査終了まで退室できません。
- ・遅刻による検査室への入室限度時刻は、次のとおりです。
  - ・筆記試験…検査開始後20分
  - ・面接…受験者の1組目又は1人目の面接が始まるまで
- ・面接の終了時刻は、最終面接者（組）の終了予定時刻であり、変更することがあります。各面接終了者（組）から帰ることができます。

検査日		3月12日（月）			
学部	課程・学科・コース		教科等	検査時間	集合時刻等
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース 特別支援教育コース	面接	10：00～17：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9：30までに集合し、入室着席（検査場所は当日掲示）してください。</li> <li>・検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、検査場に昼食を持参してください。</li> </ul>
経済学部	経済学 経営システム学 地域システム学 社会イノベーション学		小論文	10：00～11：40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9：30までに入室着席を完了してください。</li> </ul>
医学部	看護学		面接	午前の部 9：00～12：30 午後の部 13：30～16：00	午前の部 8：30集合（予定） 午後の部 13：00集合（予定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、受験票送付の際にお知らせします。</li> </ul>
理工学部	全コース		面接	10：00～16：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9：30までに集合（検査場所は当日掲示）してください。</li> <li>・検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、検査場に昼食を持参してください。</li> </ul>
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文	10：00～11：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9：30までに入室着席を完了してください。</li> </ul>
			面接	13：00～18：00	
	福祉健康科学科	心理学コース	小論文	10：00～11：30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9：30までに入室着席を完了してください。</li> </ul>
			面接	13：00～18：00	

※受験者及び付添者控室は図書館と大分大学学生交流会館「B-Forest」（生活協同組合食堂）です。

### 13. 受験に際しての注意事項

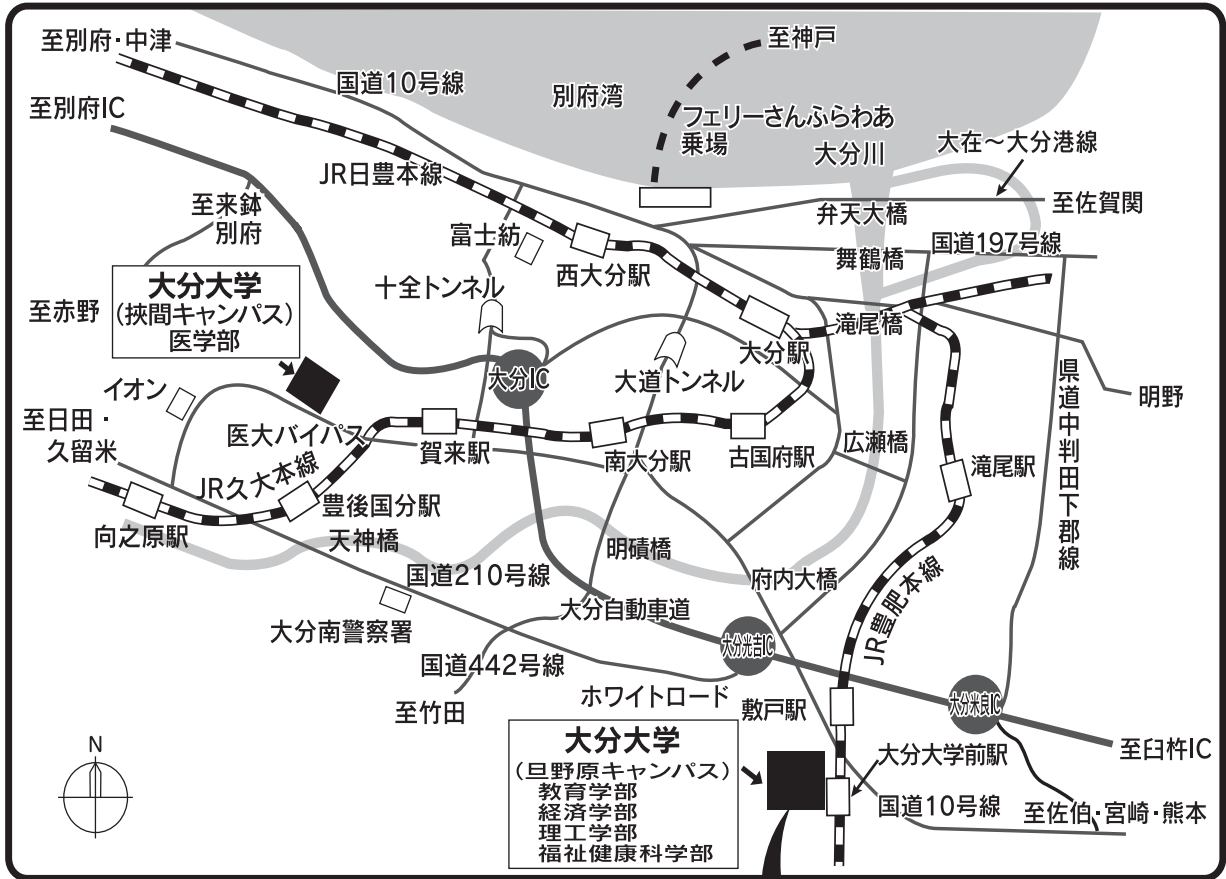
- (1) 入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 学力検査中は、本学受験票及び**大学入試センター試験受験票**を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。  
なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 出願時に届け出た教科・科目以外のものを受験した場合、当該教科・科目の成績は無効となります。
- (5) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (6) 検査当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって検査場に到着するようにしてください。
- (7) 携帯電話等の電子機器類の使用について
  - ・検査室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
  - ・検査時間中は、時計代わりに携帯電話等の時計機能を使用することはできません（机の上に置くことができません）。
  - ・検査室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
  - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種にかかわらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身につけずに、かばん等にしまってください。
  - ・アラームの解除方法がわからない人や電源の切り方がわからない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

### 14. 検査場

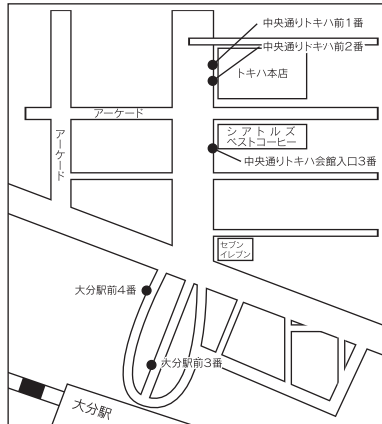
学部名	検査場	所在地
教育学部 経済学部 理工学部 福祉健康科学部	大分大学 <sup>だんの はる</sup> 旦野原キャンパス	大分市 <sup>おおあざだんのはる</sup> 大学旦野原700番地
医学部	大分大学 <sup>はさま</sup> 挾間キャンパス	<sup>ゆふしはさままちいだいがおか</sup> 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

- (1) 検査場の下見は、各検査日前日の14時～16時の間に行ってください。ただし、建物内に入ることはできません。
- (2) 各学部検査場及び検査室は掲示板で確認してください。
- (3) 検査当日、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。  
なお、旦野原キャンパスには自動車での入構はできますが、駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関等を利用してください。また、挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。
- (4) 挾間キャンパスでは、検査時間中に医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があり、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、検査を続行することとしていますので、予めご了承ください。

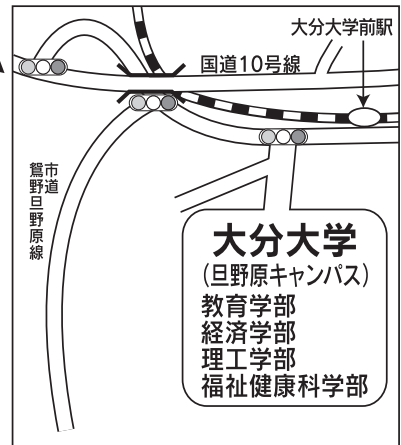
# 大分大学位置図



大分市内中心部バスのりば案内図



大学入口案内図



だんのはる  
巨野原キャンパス

(教育学部, 経済学部, 理工学部, 福祉健康科学部: 大分市大字巨野原700番地)

< JR利用 >

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分), 徒歩約10分

< バス利用 >

大分バス 中央通り〔トキハ前1番のりば〕又はJR大分駅府内中央口(北口)〔大分駅前3番又は4番のりば〕から  
 ○「大南団地(高江ニュータウン)」行きを利用(約40分), 「大分大学」又は「大分大学正門」下車  
 ○「戸次, 臼杵, 佐伯」行きを利用(約40分), 「大分大学入口」下車, 徒歩約10分  
 (詳細は時刻表で確認してください。)

●臨時バスの運行

検査場の下見時及び検査当日大分大学まで次のとおり大分バスが臨時バスを運行する予定です。(約40分)

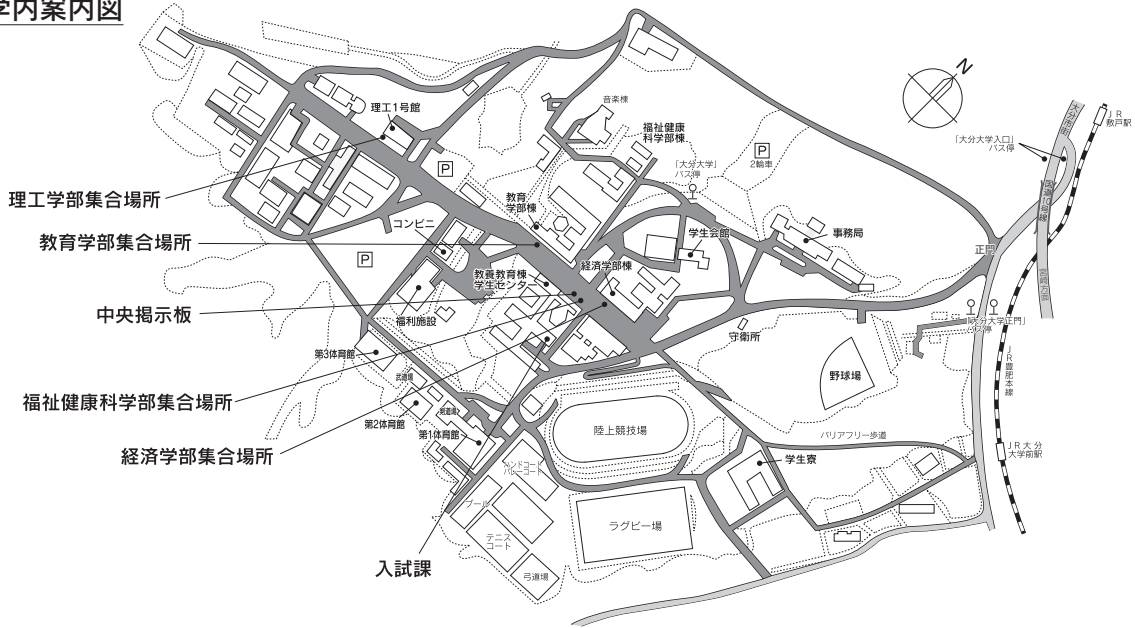
詳しくは大分バス(TEL 097-525-9882)にお問い合わせください。

検査場の下見=前期日程検査日の前日(2/24(土))13時ごろから→中央通り〔トキハ前1番のりば〕から

検査当日=前期日程検査日(2/25(日))の7時30分ごろから→中央通り〔トキハ会館入口3番のりば〕から

※3/11(日), 3/12(月)は臨時バスの運行はありません。

学内案内図



はさま  
挟間キャンパス

(医学部: 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

< バス利用 >

大分バス 中央通り〔トキハ前2番のりば〕又はJR大分駅府内中央口(北口)〔大分駅前4番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用(約40分), 「大学病院」下車

(詳細は時刻表で確認してください。)

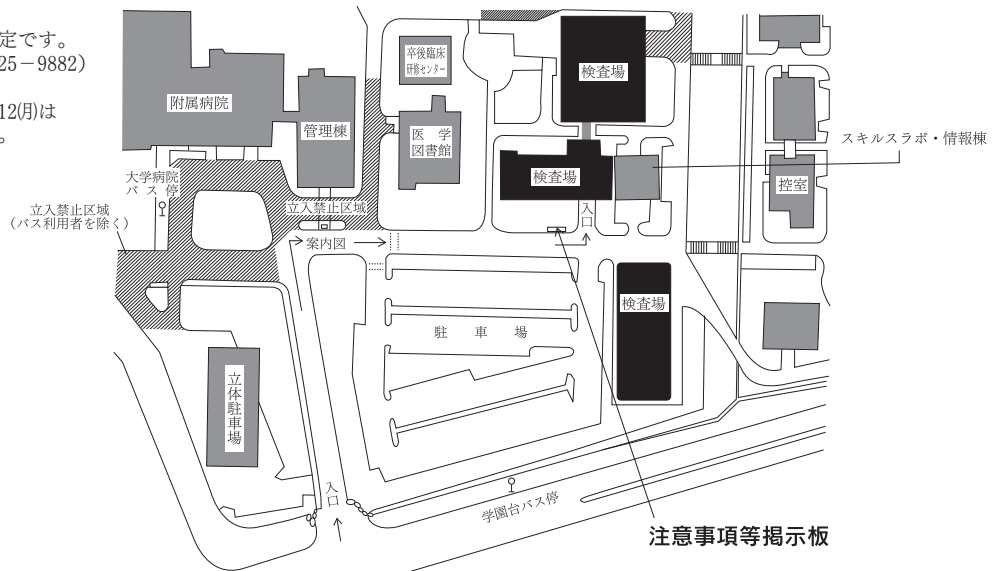
●臨時バスの運行

2/25(日)は臨時バスを運行する予定です。

詳しくは大分バス(TEL 097-525-9882)にお問い合わせください。

※2/24(土), 2/26(月), 3/11(日), 3/12(月)は

臨時バスの運行はありません。





## 15. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
- (ア) 入学志願書、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
  - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
  - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - (エ) 配布された問題冊子を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。
  - (オ) 解答用紙を検査室から持ち出すこと。
  - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - (キ) 検査時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - (ク) 検査時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
  - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 検査時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - (イ) 検査時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
  - (ウ) 検査に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
  - (エ) 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - (オ) 検査場において監督者等の指示に従わないこと。
  - (カ) その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 16. 合格者発表

合格者発表日時	前期日程	平成30年3月6日（火） 10時
	後期日程	平成30年3月20日（火） 10時

合格者は上記の日時に大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、大分大学教養教育棟（旦野原キャンパス）前の中央掲示板（全学部合格者）及び医学部管理棟前（医学部合格者）に受験番号を掲示します。

また、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

## 17. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

なお、入学手続には**大学入試センター試験受験票も必要**ですので、受験後も保管しておいてください。

### (1) 入学手続期間

期間	前期日程	平成30年3月7日（水）～15日（木）17時まで（必着）
	後期日程	平成30年3月22日（木）～27日（火）17時まで（必着）

※入学手続きは郵送のみとします。

なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることがあります。その場合は事前に、大分大学入試課（TEL 097-554-7471）に連絡してください。

## (2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

【注1】入学料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・奨学融資の制度があります。免除・徴収猶予の申請は、入学手続き期間に行う必要がありますので、詳細については、入学手続き案内の時にお知らせします。制度についてご質問のある方は、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は返還できません。

【注4】入学料免除・徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに申請書類を提出してください。ただし、入学手続き完了後に入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

(3) 国公立大学に入学手続き完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続きを行うことはできません。

## 18. 追加合格

入学手続き完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続きを行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

入学志願書に記載している追加合格連絡先に電話連絡で入学意志の確認を行いますので、下記期間中は連絡先に待機しておいてください。

なお、追加合格の有無については、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にて確認することができます。

連絡期間	平成30年3月28日（水）～平成30年3月31日（土）
------	-----------------------------

## 19. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に掲載します。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	平成30年1月23日（火）11時～3月9日（金）
合格者受験番号 （前期日程）	平成30年3月6日（火）10時～3月12日（月）
合格者受験番号 （後期日程）	平成30年3月20日（火）10時～3月26日（月）
追加合格実施状況	平成30年3月28日（水）11時～3月31日（土）

(2) 本学の情報は、大分大学ホームページで見ることができます。

(3) 入学試験個人成績の開示

本学においては、大分大学入学者選抜試験個人成績を受験者本人に限って開示します。

開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成30年5月1日（火）から5月31日（木）17時まで（必着）

※土日及び祝日は除きます。

申込者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

申込方法：次の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

- ①入学試験個人成績開示申請書（本学入試課に直接来学するか、大分大学ホームページから印刷して入手してください。）
- ②個別学力検査の受験票のコピー
- ③写真付きの身分証明書のコピー
- ④返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、392円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

開示内容：合格者、不合格者ともに、総得点、個別学力検査の得点、合格者（追加合格者を除く。）の最高点、最低点及び平均点を開示します。

※1 理工学部においては、合格者に対して合格したコースにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点、最低点及び平均点、また、不合格者に対して第1志望のコースにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点、最低点及び平均点を開示します。

※2 医学部及び福祉健康科学部においては、第2次選考受験者に限って開示します。

## 20. 入試過去問題の使用

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、「数学」及び「小論文」は参加しません。

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者にわかる形で使用過去問題を公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

## 21. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細をすみやかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7471) です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

## 22. 受験の際の宿泊

宿泊を希望する者は、この「一般入試学生募集要項」に同封されている「宿泊のご案内」を参照してください。

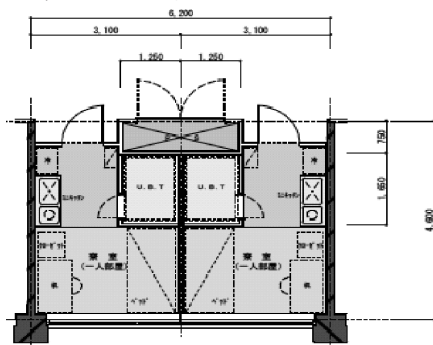
## 23. 大分大学学生寮のご案内（予告）

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

医学部のある挾間キャンパスまでは、約10kmの距離ですが、バスや電車利用の場合、乗り継ぎのため90分程度を要します。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

### 《学生寮の概要》



（上図は2部屋を示します。）

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
男子・女子・留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

（バリア・フリータイプの居室，男女各1室を含む。（主に，肢体不自由のある学生用））

- 男女混住タイプ(男子・女子・留学生ゾーンによるエリア区分)
- 居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）  
 ベッド(マットなし)，机・椅子，クローゼット，エアコン，  
 UBT（ユニットバス・トイレ），ミニキッチン（IH），  
 インターネット配線・TV配線付

### 《必要経費》

寄宿料	維持管理費 (共益費・水道料含)	インターネット料 (全員加入)	維持管理一時金 (退去時原形復旧費)
20,000円/月	4,000円/月	2,000円/月	※30,000円/入居時

・電気料は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

・水道料は2,000円定額です。

※維持管理一時金は入寮期間6ヶ月未満の学生は20,500円とします。

### 《募集人員等》

■ 募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）(バリア・フリータイプの居室，女1室を含む。)

■ 入寮許可：2年間（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

### 《選考区分等》

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般入試（前期日程）・推薦入試・AO入試・帰国子女入試・社会人入試・編入学試験の合格者	一般入試（後期日程）の合格者
申込期間	平成30年1月22日～2月7日（入試出願期間とは異なりますので注意して下さい。）	
結果通知	平成30年3月9日	平成30年3月23日

■ 試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■ 大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

### 《入寮者募集要項の入手方法》（募集要項公表：平成29年12月上旬）

#### 冊子版をご希望の方

請求先 大分大学学生支援課

〒870-1192 大分市大字且野原700番地（TEL 097-554-7443）

請求方法 担当課窓口でのお受取り又は郵便での請求ができます。

返信用封筒（角形2号，郵便番号，住所及び氏名を明記し，140円切手を貼付したもの）を同封の上，請求する封筒の表に「入寮者募集要項請求」と朱書してください。

#### デジタル版をご希望の方

大分大学公開ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ→学生生活→学生寮・アパート）

大分大学学生支援課（学生寮担当）097-554-7443 kagaikss@oita-u.ac.jp

## 24. 平成29年度 入学者選抜試験実施状況

選抜区分	一般入試(前期日程)				一般入試(後期日程)				推薦入試				AO入試				特別入試(帰社私)				合計			
	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	
教育学部																								
<small>小学校教育コース</small>	80	171	141	91	85	20	292	79	24	25	54	54	25	25					125	517	274	143	134	
<small>特別支援教育コース</small>	3	8	5	4	4	2	14	6	2	5	11	11	5	5					10	33	22	11	11	
<small>教育学部計</small>	83	179	146	95	89	22	306	85	26	30	65	65	30	30					135	550	296	154	145	
経済学部																								
<small>経営システム学科</small>	120	372	360	147	127	80	794	340	106	76	65	117	117	66	66	66	66	66	25	69	63	25	25	
<small>地域システム学科</small>																								
<small>社会イノベーション学科</small>																								
<small>経済学部計</small>	120	372	360	147	127	80	794	340	106	76	65	117	117	66	66	66	66	66	25	69	63	25	25	
医学部																								
<small>医学科</small>	65	265	161	68	68														100	486	243	103	102	
<small>看護学科</small>	35	82	80	45	39	10	75	28	9	8	15	60	60	15	15				若干	4	4	1	1	
<small>機械コース</small>	100	347	241	113	107	10	75	28	9	8	15	60	60	15	15				若干	4	4	1	1	
<small>電気電子コース</small>	44	158	155	52	51	15	91	31	15	10	13	18	17	9	9				若干	4	4	2	1	
<small>福祉メカトロニクスコース</small>	52	148	144	58	52	10	81	30	15	10	11	21	21	9	9				若干	3	2	2	1	
<small>建築コース</small>	18	52	50	22	19	7	67	27	7	5	8	18	18	8	8				若干	4	3	2	2	
<small>教理科学コース</small>	35	177	173	40	35	10	177	61	16	12									5	10	10	3	3	
<small>知能情報システムコース</small>	11	40	39	17	17	2	21	7	2	1	2	0	0	0	0				若干	0	0	0	0	
<small>自然科学コース</small>	41	177	175	48	43	10	83	40	10	7	9	18	16	10	10				5	5	5	5	5	
<small>応用化学コース</small>	10	69	66	12	11	3	32	20	4	4	2	2	2	2	2				若干	0	0	0	0	
<small>理工学部計</small>	37	113	109	44	41	10	125	41	12	9	6	10	10	7	7				2	0	0	0	0	
福祉健康科学部	248	934	911	293	269	67	677	257	81	58	51	87	84	45	45				19	25	25	16	16	
<small>理学療法コース</small>	25	75	72	27	24	5	62	17	9	8									30	137	89	36	32	
<small>社会福祉実践コース</small>	23	57	56	24	23	6	76	37	9	9	6	28	28	6	6				35	161	121	39	38	
<small>心理学コース</small>	30	69	64	32	30	5	84	17	8	5									35	153	81	40	35	
福祉健康科学部計	78	201	192	83	77	16	222	71	26	22	6	28	28	6	6				79	315	170	76	75	
合計	629	2,033	1,850	731	669	195	2,074	781	251	190	167	357	354	162	162				1,070	4,814	3,186	1,231	1,102	

※医学部医学科の一般入試(前期日程)第1段階選抜合格者は196名[不合格者は69名]です。

※福祉健康科学部理学療法コースの一般入試(後期日程)第1段階選抜合格者は50名[不合格者は12名]です。

※福祉健康科学部社会福祉実践コースの一般入試(後期日程)第1段階選抜合格者は74名[不合格者は2名]です。

※福祉健康科学部心理学コースの一般入試(後期日程)第1段階選抜合格者は60名[不合格者は24名]です。

## 25. 平成29年度一般入試合格者の成績

### 【前期日程】

学 部	学科・コース	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	小学校教育コース	80	91	1200	965.70	722.60	784.11
	特別支援教育コース	3	4	1200			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	120	147	1000	831.30	598.90	640.79
医学部	医学科	65	68	1050	929.70	768.10	808.38
	看護学科	35	45	550	419.30	368.00	383.47
理工学部	機械コース	44	52	1025	715.55	585.90	629.33
	電気電子コース	52	58	1025	714.40	568.75	612.99
	福祉メカトロニクスコース	18	22	1025	700.25	575.60	623.44
	建築学コース	35	40	1025	722.95	628.10	663.19
	数理科学コース	11	17	1025	743.25	621.25	685.23
	知能情報システムコース	41	48	1025	705.90	598.65	643.54
	自然科学コース	10	12	1025	738.10	616.40	664.94
	応用化学コース	37	44	1025	733.15	587.20	632.14
福祉健康科学部	理学療法コース	25	27	1300	990.80	860.40	907.67
	社会福祉実践コース	23	24	1300	965.00	791.20	862.79
	心理学コース	30	32	1300	943.40	818.40	881.05

### 【後期日程】

学 部	学科・コース	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	小学校教育コース	20	27	1100	846.90	757.20	778.41
	特別支援教育コース	2	2	1100			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	80	106	700	528.30	436.00	462.73
医学部	医学科	—	—	—	—	—	—
	看護学科	10	9	550			393.55
理工学部	機械コース	15	15	1100	839.600	744.925	780.040
	電気電子コース	10	15	1100	912.925	740.900	808.870
	福祉メカトロニクスコース	7	7	1100			767.210
	建築学コース	10	16	1100	871.250	800.950	832.670
	数理科学コース	2	2	1100			
	知能情報システムコース	10	10	1100	881.300	791.625	818.160
	自然科学コース	3	4	1100			
	応用化学コース	10	12	1100	885.225	802.125	829.320
福祉健康科学部	理学療法コース	5	9	1300			922.67
	社会福祉実践コース	6	9	1300			852.64
	心理学コース	5	8	1300			957.80

※追加合格者(平成29年度一般入試は該当者なし)を除く。

※合格者が10人未満の場合は、平均点のみ公表。

※合格者が5人以下の場合は、個人情報保護のため非公表。

## 入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいた し おおあざだん の はる 大分市大字巨野原700番地  
大分大学学生支援部入試課

TEL 097(554)7471

FAX 097(554)7472

URL <http://www.oita-u.ac.jp/>